

計画07 劇場、店舗、駐車場、ホテル

- 1 延べ面積10,000m²のスーパーマーケットの計画において、売場面積を延べ面積の65%とした。
- 2 延べ面積10,000m²の百貨店の避難計画において、避難対象人員を売場面積1m²当たり0.5人とした。
- 3 スーパーマーケットの売場の照度を500ルクスとした。
- 4 シティホテルの計画において、客室1室当たりの床面積は、シングルベッドルームを20m²、ツインベッドルームを30m²とした。
- 5 地下階に駐車場を設ける大規模店舗において、売場のレイアウトと駐車場の駐車台数の効率を考慮して、柱割りを8.5m × 8.5mとした。
- 6 客席部分の床面積120m²のファミリー向け洋食レストランの計画において、面積の有効利用に配慮して、1席当たりの床面積を3m²とした。
- 7 大規模なシティホテルにおいて、客用のエレベーターの台数は、一般に、100～200室に1台程度とされている。
- 8 一般に、商店の陳列棚は、床上700～1,500mm程度の部分が、成人にとって最も商品を手に取りやすい高さである。
- 9 大田区役所本庁舎(東京都)は、1960年代に建てられた民間の事務所ビルを転用したもので、外部及び内部デザインを継承しながら、3階エントランスは各種イベントに対応できるように、設備改修が施された。
- 10 劇場の計画において、プロセニウムステージは、必要に応じて客席と舞台との関係を変化させることができるので、演目に応じて適切な空間をつくりだせる。
- 11 鉄道の駅舎とつながる複合ビルの各階においては、車いす使用者等に配慮した便所を設け、出入口の幅を75cmとした。
- 12 複合ビルの主要な出入口においては、エレベーター等の配置を示す白地の総合案内板を設け、案内板の表示には、黄色を避けるとともに、点字による併記を行った。
- 13 劇場において、奈落とは、舞台や花道の床下の空間のことである。
- 14 商業施設における平面自走式の駐車場は、出入時の安全性及び周辺交通への影響を考慮して、前面道路に対する出入を左折入庫・左折出庫とした。
- 15 大規模量販店の基準階において、売場(売場内の通路を含む。)と後方施設との床面積を割合を1:1とした。
- 16 延べ面積50,000m²の百貨店の計画において、売場面積(売場内の通路を含む)の延べ面積に対する割合を55%とした。
- 17 劇場における舞台の上手は、客席から見て舞台の右側のことである。
- 18 ホテルの一般客室を、車椅子使用者用客室へ改修するに当たり、二つの客室の間仕切り壁を撤去して一室化し、客室内にスロープを設置し、客室全体の床の高さを、トイレ・浴室等の床の高さと合わせた。
- 19 百貨店のトイレ・洗面所の計画において、乳幼児用おむつ交換台の高さを、50cmとした。
- 20 ホテルのフロントカウンターの計画において、一般用の高さを100cmとし、車椅子使用者用の高さを70cmとした。
- 21 セミモールは、都市部や商業地などで歩行者空間を充実させたモールにおいて、一般車両の乗り入れを禁止し、路面電車やバスを通行させるものである。
- 22 丸の内ビルディング(東京都、2002年)の高層階のオフィスゾーンは、中央にアトリウムを設け、事務室沿いの廊下をアトリウムに面して配置しており、その廊下から建築物のどこの位置に自分がいるのかを把握することができる。
- 23 ホテルのエレベーターにおいて、エレベーターの籠内の階数ボタン等の点字表示は、ボタンが縦配列であったので、それぞれのボタンの右側に設けた。
- 24 能楽堂は、一般に、「本舞台」、「後座」、「地謡座」及び「橋掛り」から成り立つ舞台と、その舞台を3方向から眺める客席をもつ空間である。

計画07 劇場、店舗、駐車場、ホテル

- 1 ○ 延べ面積10,000m²のスーパーマーケットでは、売場面積を延べ面積の60～70%としたものが多い。
- 2 ○ 百貨店やスーパーマーケットの避難計算用人口算定密度は、一般に100m²当たり50人とされる。
- 3 × 明るく清潔なイメージをつくり出すため、照度は1000～1500ルクスと設定する。500ルクスでは低い。
- 4 ○ シティホテルのシングルベッドルーム20m²、ツインベッドルーム30m²は、共に余裕がある広さである。
- 5 ○ 3台駐車させることができる。
- 6 × 一般にレストランの1席あたりの床面積は0.6～1.6m²である。3m²は広すぎる計画である。
- 7 ○ 大規模なシティホテルの客用のエレベーターの台数は、一般に、100～200室に1台程度とされている。
- 8 ○ 一般に、商店の陳列棚は、床上700～1,500mm程度の部分が、成人にとって最も商品を手に取りやすい高さである。
- 9 × 目黒区総合庁舎のこと。
- 10 × プロセニウムステージは、客席がプロセニウムと呼ばれる舞台の額縁で区分されているので、客席と舞台の関係は一定である。必要に応じて客席と舞台との関係を変化させ、演目に応じて適切な空間をつくりだすには、アダプタブルステージが適している。
- 11 × 車いす使用者が利用する便所の出入口の幅は内法80cm以上とする。
- 12 ○ 加齢とともに物が黄色を帯びて見えてくるので、案内板の標示には識別しにくい黄色を避け、白地にする。また視覚障害者にも配慮して、点字も併記することが望ましい。
- 13 ○ 舞台や花道の床下の空間を奈落といい、舞台転換のための回り舞台、せりなどの機械設備がある。
- 14 ○ 商業施設における平面自走式の駐車場は、出入時の安全性及び周辺交通への影響を考慮して、前面道路に対する出入を左折入庫・左折出庫とする。
- 15 × 大規模量販店の基準階において、売場(売場内の通路を含む。)と後方施設との床面積の割合は、3:1～4:1程度である。
- 16 ○ 一般に、百貨店の売場面積(売場内の通路を含む)においては、延べ面積の50～60%程度である。
- 17 ○ 劇場における舞台の上手は、客席から見て舞台の右側のことである。
- 18 ○ 正しい
- 19 × 台の上面の高さは床面から70cm程度とする。
- 20 ○ 正しい
- 21 × 記述はトランジットモールのこと。セミモールとは、歩行者専用通路と自動車通路によって構成されるもの。自動車交通を抑制する方法として用いられている。車道を残したまま歩道を整備して通行する車種や車両の速度を制限したモール。
- 22 × 戦前期の最大のビルで「東洋一のビル」といわれていた。下層に先代丸ビルのファサードを残した超高層ビルとなっている。日本建築学会は、旧丸ビルの保存に関する要望書を提出した経緯がある。
- 23 × 縦配列の時は左側に設ける。縦2列になるときは、千鳥配置が望ましい。
- 24 ○ 本舞台、橋掛、歌謡座、アト座の4部分からできている。能舞台の中心である本舞台は約6m四方の正方形で床板は縦に敷いてありその四隅に柱を立て、屋根をかけてある。